

## 令和 9 年度新潟県立村上桜ヶ丘高等学校 2 年次修学旅行業務委託仕様書

### 1 旅行期間

令和 9 年 12 月 2 日（木）～令和 9 年 12 月 10 日（金）の期間内にて 3 泊 4 日

### 2 旅行先

九州方面（長崎・福岡・熊本）

### 3 参加予定人数

125 名（生徒 3 クラス計 120 名 引率教員 5 名） なお、養護教諭は同行しない。

### 4 予算

生徒一人あたり 130,000 円程度 \*引率職員の経費は 120,000 円程度とする  
（下記の金額を含むものとする。）

- ・ 消費税及び地方消費税
- ・ 看護師同行費用
- ・ 各種保険料
- ・ 体験学習等の研修にかかる費用
- ・ 荷物配送料

### 5 委託業務の内容

- （1）修学旅行の日程表の作成
- （2）旅行中の交通手段及び宿泊先の確保
- （3）研修プログラム等の企画及び現地でのサポート
- （4）保護者説明会及び事前・事後研修の企画・運営
- （5）旅行に係る危機管理、現地におけるトラブルへの対応・処理、相談
- （6）事業実施にかかる諸手続等
- （7）修学旅行のしおりの作成、参加者への事前・事後の諸連絡及び実施期間中の参加者の一般的な健康管理等

### 6 旅行企画について

- （1）旅行の目的
  - ・ 西九州の生活、自然、歴史、文化を学び、その特色を理解し地域再生や持続可能社会の実現など、ふるさと理解の探求学習に活かす。
  - ・ 被爆都市長崎で、戦争と核兵器の惨禍を学習することにより平和の尊さ、命の大切さを学べるものとする。
  - ・ 長崎または熊本の防災学習を通して地域における防災力の向上につなげる。
- （2）旅行の内容
  - （1）の目的を達成するため、以下の内容を踏まえる。
    1. 現地での体験活動・防災学習
      - ・ 民泊体験もしくは体験活動を通じ、異文化理解についての考えを深める。
      - ・ 自然の脅威と災害の教訓を学び、災害から身を守り他者や地域の安全を支える力を養う。
    2. 平和学習
      - ・ 事前学習を 2 回程度本校で行い、現地研修にいかす。
      - ・ 被爆地の跡をたどり、平和の尊さ、命の大切さについて考える。
      - ・ 可能であれば、被爆者の講話などを取り入れる。
- （3）交通手段
  - ・ 航空機の利用を希望する（分便も可）が、遠隔地の生徒の発着時間を考慮し、出発・帰着時間に無理のないよう設定することを優先する。
  - ・ 往路については全体出発場所まで、復路については全体到着場所からの交通手段を含めた計画とする。

(4) 宿泊方法

- ・全参加者が同一施設に宿泊できること。(民泊は除く)
- ・大部屋での宿泊を極力避けた計画であること。
- ・性別に配慮し、別館または各階等で区切ることが可能であること。

(5) 添乗員等

- ・3人以上の添乗員が全日程同行すること。(1名は現地添乗員も可)
- ・1人以上の看護師が同行すること。(ただし現地対応のみも可)

(6) その他

- ・荷物の配送について、往復ともに必要に応じて行うこと。
- ・上記仕様以外に、業者独自の付加価値・サービスを提案すること。
- ・事前事後学習の企画内容も提案すること。